

# 令和 8年度予算見積調書

課室名：資源循環推進課

担当名：サーキュラーエコノミー担当

内線：3107

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業		
P20	サーキュラーエコノミー推進事業費			一般会計	総務費	環境費	廃棄物対策費	サーキュラーエコノミー推進事業費		
事業期間	令和 5年度～令和12年度	根拠法令	廃棄物の処理及び清掃に関する法律 プラスチックに係る資源循環等の促進に関する法律			針路 分野施策	11 1102	稼げる力の向上 変化に向き合う中小企業・小規模事業者の支援	SDGsゴール SDGsターゲット	8, 9, 12, 17 8-1, 8-2, 8-3, 8-5
1 事業概要 日本及び世界でサーキュラーエコノミー（ＣＥ）への転換が推進されており、県内企業の中長期的な事業の継続性及び競争力の確保のため、県内企業支援及びＣＥの理解促進を行う。 ア 廃棄物処理業者のリサイクル技術高度化支援事業 101,175千円 イ サーキュラーエコノミーパートナーシップ推進事業 9,820千円 ウ サーキュラーエコノミー型製品理解促進事業 2,360千円 エ リチウムイオン電池広域回収・再資源化体制構築事業 17,535千円				5 事業説明 (1) 事業内容 ア 廃棄物処理業者のリサイクル技術高度化支援事業 101,175千円 廃棄物処理業者等の高度な再資源化設備等の導入補助。 イ サーキュラーエコノミーパートナーシップ推進事業 9,820千円 サーキュラーエコノミーを推進するため情報発信や交流の場を提供。食品廃棄物削減対策に取り組む店舗の増加、支援。 ウ サーキュラーエコノミー型製品理解促進事業 2,360千円 彩の国リサイクル製品の認定品目拡大や、業界団体や自治体への働き掛けなどを通して、販売促進を支援。 エ リチウムイオン電池広域回収・再資源化体制構築事業 17,535千円 リチウムイオン電池の広域回収・再資源化体制を構築し、レアメタル等の回収を促進。 (2) 事業計画 令和8年度 県内のＣＥを推進するため、各事業を年間通して行う。 (3) 事業効果 【活動指標(アウトプット)】 ・廃棄物処理業者のリサイクル技術高度化支援 5件 ・サーキュラーエコノミー推進分科会総会の開催 2回 ・エコぐるめ協力店 2,000店舗 ・彩の国リサイクル認定品新規項目追加 3程度 ・市町村数向け説明会 2回程度 ・地域ブロックごとの意見交換会 5ブロック 【成果指標(アウトカム)】 ・リーディングモデルの構築 5件 ・サーキュラーエコノミー推進分科会新規加入者 20者 ・ＣＥについて言葉も意味も知っている R8：21.6％ ・ＣＥ型製品や資源の循環利用の取組について認知している県民の割合 R8：21％ 理解して取組んでいる県民の割合 R8：9.5％ ・リチウムイオン電池の分別排出が可能な市町村数 R8:63市町村 (4) 県民・民間活力・職員のマンパワーの活王、他団体との連携状況 国、市町村、ＣＥ推進センター埼玉、県内経済団体や金融機関等と連携し、県内企業のＣＥの取組を推進する。						
2 事業主体及び負担区分 ア、イ、ウ(県10/10) エ【内閣府】 地域未来交付金(国1/2・県1/2)										
3 地方財政措置の状況 なし										
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×5.0人＝47,500千円										
予算額		財 源 内 訳						一般財源	前年との 対比	
		国庫支出金								
決定額	130,890	8,647						122,243	△57,694	
前年額	188,584	14,005						174,579		

## 事業内訳書

事業名	サーキュラーエコノミー推進事業費		
単位事業名	廃棄物処理業者のリサイクル技術高度化支援事業	予算額	101,175千円

### ○歳入

(単位：千円)

款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	101,175	0	
合計	101,175	0	

### ○歳出

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
報償費	600	0	有識者検討会委員謝金
旅費	356	0	有識者検討会打合せ 現地確認・調査等 先進事例視察
需用費	95	0	審査会等補助金関連事務作業 報告書
役務費	49	0	補助金交付対象者等への資料送付
使用料及び賃借料	75	0	有識者検討会会場
負担金、補助及び交付金	100,000	0	廃棄物処理業者による高度な再資源化設備の導入等に対する補助

単位事業名	廃棄物処理業者のリサイクル技術高度化支援事業	予算額	101,175千円
-------	------------------------	-----	-----------

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
合計	101,175	0	

単位事業名	サーキュラーエコノミーパートナーシップ推進事業	予算額	9,820千円
-------	-------------------------	-----	---------

○歳入

(単位：千円)

款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	9,820	5,546	
合計	9,820	5,546	

○歳出

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
報償費	627	△50	アドバイザー謝金 太陽電池モジュールサイクル協議会 謝金
旅費	430	261	地域循環モデルの実証関連等 太陽電池モジュールサイクル協議会 県内処理業者等へのヒアリング
需用費	917	650	プラットフォーム消耗品一式 ワーキング・グループでの実証用資材等 プラットフォーム資料等一式
役務費	400	350	プラットフォーム資料送付代
委託料	7,109	4,109	サーキュラーエコノミーパートナーシップ推進業務委託料

単位事業名	サーキュラーエコノミーパートナーシップ推進事業	予算額	9,820千円
-------	-------------------------	-----	---------

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
使用料及び賃借料	337	226	プラットフォーム会議室（備品含）
合計	9,820	5,546	

単位事業名	サーキュラーエコノミー型製品理解促進事業	予算額	2,360千円
-------	----------------------	-----	---------

○歳入

(単位：千円)

款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
国庫支出金・ 環境費補助金	0	△3,500	
一般財源	2,360	△8,816	
合計	2,360	△12,316	

○歳出

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
報償費	680	680	有識者謝金
旅費	192	△384	審査会打合せ 現場確認・調査等
需用費	500	△200	展示会事業事務費等
役務費	150	150	資料配送費等
委託料	484	△12,916	リーフレットデザイン委託

単位事業名	サーキュラーエコノミー型製品理解促進事業	予算額	2,360千円
-------	----------------------	-----	---------

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
使用料及び賃借料	150	150	審査会会場等
負担金、補助及び交付金	204	204	県産品フェア出展料
合計	2,360	△12,316	

単位事業名	リチウムイオン電池広域回収・再資源化体制構築事業	予算額	17,535千円
-------	--------------------------	-----	----------

○歳入

(単位：千円)

款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
国庫支出金・ 環境費補助金	8,647	△1,858	【内閣府】 地域未来交付金 補助率 定額
一般財源	8,888	△2,607	
合計	17,535	△4,465	

○歳出

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
報償費	200	0	有識者謝金
旅費	240	△750	現地調査等
需用費	109	△350	試薬等消耗品
委託料	16,635	△3,365	構築事業委託
使用料及び賃借料	351	0	関係者打合せ等



単位事業名	リチウムイオン電池広域回収・再資源化体制構築事業	予算額	17,535千円
-------	--------------------------	-----	----------

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
合計	17,535	△4,465	